

ムシキング になるうっ!

気がつけばもう7月。あと少しで夏休みです。「バイトや車校で忙しいわ〜。」「やることないから家でごろごろしてこ。」そんなことを言っているそのあなたっ! 子供の頃の夏休みへのワクワク感を忘れてしまってはいませんか?

そんなあなたに童心を思い出してもらおうべく、このページでは虫取りについてとりあげます。

★虫取りの持ち物★

- 虫取り網……………必需品。ないと素手で取らなければなりません。
- 虫かご……………これも必需品。肩から掛けられるものが良いです。
- ぼうし……………日差し避け。麦わら帽子だと雰囲気が出ます。
タオルでも代用できます。
- 虫除けスプレー…害虫除け。虫除けスプレーを使っても
カブトムシ等は逃げないので大丈夫です。
- 水筒……………のどが乾いた時の水分補給に。

(夜に行く場合は長袖・長ズボンのほうがよいです。)
また、懐中電灯も忘れずに。



~セミの鳴き声~

夏にはセミの鳴き声をよく聞きますよね?
驚くべきことに、セミは種類によって鳴く時間が違うのです。例えば、
明け方・真昼: ニイニイゼミ・ミンミンゼミ、午前: クマゼミ、
午後: アブラゼミ、夕方: ヒグラシ
…という風に。鳴き声がかぶらないように、時間をずらしているそうです。
時計を忘れたときにはセミの鳴き声を聞くといいですね♪



~クワガタの値段~

高級なことで有名なオオクワガタ、その値段は1ミリ単位で変わってきます。最小の50ミリで2,500円、75ミリにもなると50,000円にもなります。そのため、クワガタの飼育を副業にしたサラリーマンもいるそうです。



★虫の捕まえ方★

なかなか捕まえることのできないあなたにアドバイス。
夏の代表的な虫であるセミとカブトムシ・クワガタの捕まえ方を教えます。

◇セミの捕まえ方

- まず、木に止まっているセミにゆっくりと近づきます。そして、捕まえられる距離に入ったら、やや上方から網をかぶせます。網をかぶせたら地面に振り落とさずに、その状態を維持して網の上から手で捕まえます。
- それでも難しい人にお勧めな方法として、“幼虫を捕まえる”という方法があります。夜に、セミの抜け殻をよく見る木を見てみましょう。茶色い姿の幼虫を見つけれられるはずですよ。捕まえたら家の網戸やカーテンに掴まらせておきましょう。しばらくすると羽化が始まり、幼虫は白色のセミになります。羽化の瞬間は一見の価値がありますよ♪



▲セミの羽化の瞬間

◇カブトムシ・クワガタの捕まえ方

- カブトムシ等が来そうな木にエサ(市販の昆虫ゼリーなど)を置いておき、深夜や早朝に見に行きましょう。
- 昼に行く場合は、昆虫が隠れていそうな木を片っ端から揺らして落ちてこないか確認しましょう。また、朽木や倒木などをひっくり返すのも有効です。

(注)カブトムシ・クワガタがいる所にはスズメバチがいることが多いので注意しましょう。

名古屋大学でも捕まえられるそうなので探してみてください。



▲木に群がる昆虫たち

~カブトムシの大きさ~

世界最大のカブトムシとして有名である、ヘラクレスオオカブト。

最大のもので180ミリ、幼虫でも110ミリはあるそうです。

また寿命も長く、幼虫の状態で2年、成虫の状態で1年近く生きるそうです。

一方、日本のカブトムシは最大で96ミリとヘラクレスの幼虫よりも小さく、寿命も幼虫で1年、成虫で2ヶ月ほどと、これまたヘラクレスの幼虫よりも短いのです。カブトムシになるのなら、ヘラクレスのほうが良いですね。

▼手のひらサイズの幼虫



いかがでしたでしょうか？少しでも興味を持てた人は、この長い夏休みに、ぜひ虫取り網と虫かご片手に、近所の公園に行ってみてください。きっと、あの頃の思い出がよみがえってくるはずです。

文責：ひっしい